

グリッド線の使い方

No.演習 1 補助 1

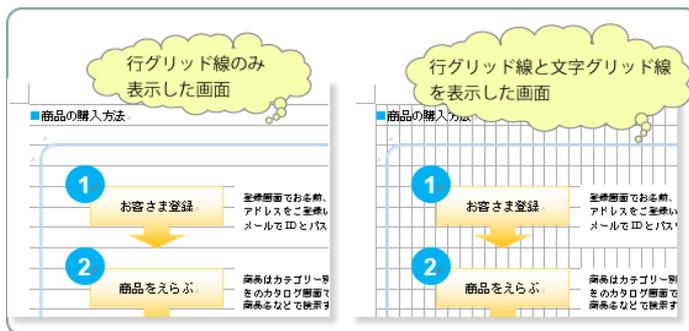
PCクラブ 2025.06.18

グリッド線には、画面に横罫線が表示される「**行グリッド線**」、縦罫線が表示される「**文字グリッド線**」の2種類があります。

新規の文書の場合、レイアウトタブから表示のチェックをすると「行グリッド線（横罫線）」だけが表示されます。

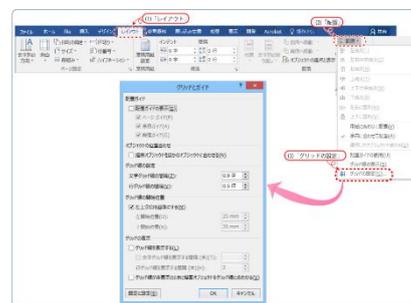
また、いずれのグリッド線も画面だけの表示で、印刷はできません。

図形を描いたり位置を揃える作業をするときには、縦横両方のグリッド線が表示されていることがポイントです。



グリッド線の表示設定

グリッドに関する詳細設定は、リボンの「レイアウト」タブにある「配置」ボタンを押し、表示されるメニューの「グリッドの設定」をクリック。表示される「グリッドとガイド」ダイアログボックスから行えます。



「グリッドとガイド」ダイアログボックスが表示されたら、以下の様に指定します。

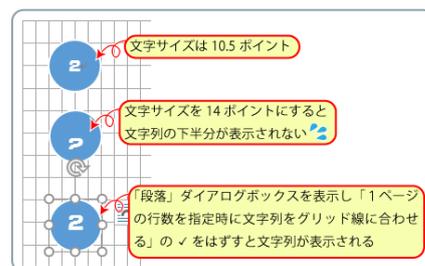
- (1)文字グリッド線の間隔→1
- (2)行グリッド線の間隔→1
- (3)「グリッド線を表示する」をチェック
- (4)「文字グリッド線を表示する間隔」をチェック
- (5)「文字グリッド線」と「行グリッド線」の表示する間隔を「1」に指定



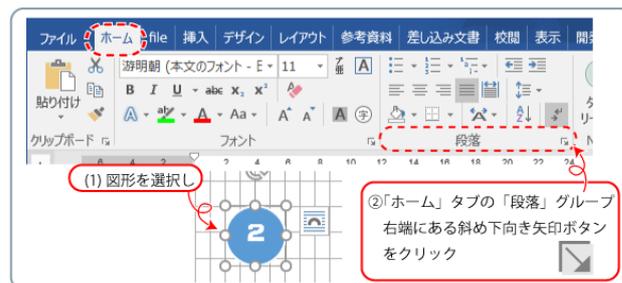
図形の文字が隠れてしまった場合は

図形内の文字はグリッドに合わせて表示されるため、文字サイズを変更すると、下記の図のように文字の下半分が表示されなくなることがあります。

そのようなときは、「段落」ダイアログボックスで「1ページの行数を指定時に文字列を行グリッド線に合わせる」のチェックを外すと隠れてしまっていた部分が表示されます。



ダイアログボックスは「ホーム」タブの段落グループにある小さなボタンをクリックすれば表示されます。



グリッド線の表示/非表示切替は「レイアウト」タブ以外にも「表示」タブに「グリッド線」にチェックの有無で切り替えできる。

